



う え の き た し ょ う 上野北小だより

だい ごう
第3号 2025(R7).5.30

はっこうしゃ こうちよう た な か と も ひ こ
発行者 校長 田中 智彦

「わかる喜びを見出す」ための機会を！

本年度も、子どもたちの元気な笑い声が校内に響き渡っています。学校へ楽しく通うことは、本当に素敵なことだと思います。学校へ通う事で、なかまや先生など多くの人に出会い、より多くのことを学び、学んだことを自らの生活へと返していくことで、より豊かな生き方へとつながっていくと思います。

本校においても、学校教育活動の中で、学びを深めるために、いくつかの「機会」を設けています。今回は、『学校教育目標』の中の「目指す子ども像」の内、【わかる喜びを見出す子】に関わって、3つの機会を紹介します。



①授業改善の機会を！

4月17日(木)に 6年生が全国学力・学習状況調査として国語・算数・理科を、5月21日(水)にみえスタディ・チェックとして 5年生が国語・算数・理科、4年生は国語・算数に挑みました。並行して実施した児童質問紙と併せて分析し、今後の授業改善につなげていきます。また、全教職員による研究授業を行うなど、校内の全体研修会も活性化し、「あっ、そうか」「えー、どういうこと」「おー、なるほど」という声が、授業の中であふれるようにしていくことを目指しています。また、学習したことを忘れないように積み上げていくためにも、毎朝の「ゴールデンタイム」も充実させていきたいと考えています。



ブレイクタイム

先日行われた、研究授業のあと、「先生見て。ぼく、ノート4ページも書いてん」と。見てみると、丁寧に課題を書き、その下に自らの考えが書かれていました。研究授業を行うために、少しでも子どもたちがわかる喜びを見出してほしいと考え、指導する先生は毎日悩みながら、多くのことを考えています。それだけに、授業時間にこうして精一杯頑張る子どもたちの姿は大きな励みとなります。



②家庭学習の機会を！

各学年において「学年×10分+α」の時間設定で、家庭学習を出しています。できるだけ、学校の授業の進度にあわせて、学んだことが自分のものになるように計画的に行っています。学年によっては、自主学習を推進し、その取組方を学級通信等で紹介しています。また、タブレットを活用した課題を出している学年もあります。こうした家庭学習がより学びを深めていく一助になると考えているだけに、ご自宅で子どもたちがどのように家庭学習と向き合っているか、是非、見守っていただけたらと思います。



③読書の機会を！

本にふれ、文字にふれる機会を大切にしたいと考えています。そのためにも、本年度より新たに月曜日のお昼の時間に「ブックタイム」と称して、学級担任等も含めて、15分間本を読むようにしています。静かに本の世界に入り込むこの時間がとても素敵で、週の始まりに落ち着いた時間を過ごせています。今まで行ってきた本の読み聞かせや、「読書の木」、伊賀市図書館による「ブックトーク」、小学生新聞や「上野北小の記事が載ったスクラップ掲示」等も充実させていきます。

また、伊賀市でも力を入れている1～3年生による「この本読んで運動」、4～6年生による「この本おもしろいよ運動」にも力を入れています。既に、1・2年生では取り組みはじめ、「この本、読んでもらうねん」と嬉しそうに本を抱きかかえて、図書室から教室に向かう子どもの姿があります。お忙しいとは思いますが、是非、読み聞かせをしたり、一緒に本を読んだりしていただき、本にふれる楽しさを共有していただけたら嬉しいです。

上記のような日頃の子どもの様子をお伝えできたと考え、HPを編集しています。スマートフォン等で「上野北小学校」と検索していただくと簡単に見ることができます。是非、ご覧ください。

上野北小学校HPのWebサイトアドレス：

<https://school.iga.ed.jp/uenokita-e>

お知らせ

現在、何らかの要因で登校できない児童については、伊賀市教育支援センター「ふれあい教室」への登校等、個々に応じた支援に努めているところです。三重県及び伊賀市がフリースクールを利用する児童生徒への支援事業を実施していますので、保護者の皆様には、「tetoru」を用いて今後、お知らせします。今後とも、家庭と連携しながら、子どもたちの学びと成長を支援していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。